

剣道部 最後の全県総体出場！

6月3日（金）から7日（火）まで熱戦が繰り広げられた全県総体。剣道競技には本校剣道部が出場しました。11年間活動を続けてきましたが、この大会をもって全員が出場する公式試合は最後となりました。選手、担当の先生方からコメントをいただきました。

部長 三浦敦子先生

たくさんの人達に支えてもらっていたと実感しています。送迎や応援をしてくださった保護者の皆様。練習に来てくれた先輩達。温かく、時には厳しく修英剣道を支えてくださった皆様に感謝します。そして、剣道の楽しさを教えてくれたすべての部員達にも感謝します。本当にありがとうございました。

監督 佐々木健先生

部員の皆さんはとても一生懸命に頑張ってくれました。剣道を通じ、いろんなことを学んだと思います。これからの感謝の気持ちを忘れずに何事もチャレンジして欲しいと思います。部員の皆さん、ありがとうございました。

主将 鳥村晟くん（3年）

私達にとって今回の総体は特別でした。3年生最後の試合であり、スポーツコース最後の年だったからです。健先生の教える「基本に忠実な正しい剣道」を忘れず、そして先輩達の思いを胸に全力で戦ってきました。関わってくださったすべての皆さん、応援ありがとうございました。

後藤佑翔くん（3年）

高校3年間、小学生の時から11年間剣道をしてきましたが、あっという間に時間が経ちました。最後の試合だったので今回は勝ちたいと思っていましたが、負けてしまいました。でも、とても楽しくできてよかったです。剣道で習ったことを将来に活かしていきたいです。



小澤真世さん（3年）

今回の大会では、3年間やってきた中で一番いい試合ができたと思います。相手は秋田北の強豪でしたが、面や小手など当たっているところが何回もありました。一本にならなかったのが悔しい気持ちもありますが、気持ちを前に持って行き、自分から打っていくことで自信ができました。健先生が3年間で教えてくださった「気剣体一到」や「一眼二足三胆四力」などを社会人になっても忘れず、大きな困難にぶつかっても逃げずに頑張っていきたいです。